

2026年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題  
出題意図

分野    経営学            問題番号    1

---

出題意図

経営学の基本事項である後期人間関係論（新人間関係論）についての知識を問うとともに、後期人間関係論（新人間関係論）に先行する学説についての知識を問う出題である。

解答のポイント

1. C. アージリスの自己実現人モデルを、A. H. マズローの欲求階層説との対比で説明する。
2. D. マグレガーのX理論・Y理論を、伝統的管理論との対比で説明する。
3. F. ハーツバーグの動機づけ・衛生理論を、伝統的管理論との対比で説明する。
4. 後期人間関係論（新人間関係論）を、初期人間関係論との対比で説明する。

指定テキストの出典範囲

坂下昭宣（2014）『経営学への招待』（新装版）白桃書房、104-115頁

塩次喜代明・高橋伸夫・小林敏男（2009）『経営管理』（新版）、42-62頁、164-172頁

2026年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題  
出題意図

分野 経営学 問題番号 2

出題意図

競争戦略策定および競争優位の持続に欠かせない事業の定義について、知識を得ているかどうかを確認することが出題の意図である。

解答のポイント

問1

1. 事業の定義を行うことが競争戦略策定の出発点である点が示している。
2. 事業の定義を明確にしておかないと、競争優位の持続が難しくなる点が示している。

問2

1. 3次元とは「顧客層」「顧客機能」「代替技術」である点が示している。
2. 「顧客層」は「顧客が誰か」を限定するものであり、「顧客機能」は顧客が保有するニーズの種類であり、「代替技術」は自社が提供するサービス実現するための技術である点が示している。
3. 事業を3つの次元で定義することによって、他社とどの次元で競合しているのか、すみ分けているのが把握でき、戦略策定につなげられる点が利点として示している。

参考文献：網倉久永・新宅純二郎（2011）『マネジメント・テキスト 経営戦略入門』日本経済新聞出版社、299-305頁。

2026年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題  
出題意図

分野 経営システム

問題番号 3

出題意図

相関係数、回帰分析など統計分析を適切に行い、その結果を考察する能力を問う問題。

解答のポイント

- 問1 分散の公式や概念を適切に説明する。
- 問2 相関係数を適切に算出し、その結果を考察する。
- 問3 回帰分析の切片、傾きを適切に算出し、その結果を考察する。
- 問4 回帰分析の決定係数を適切に算出し、その結果を考察する。

出題箇所:いずれも倉田・星野の「入門統計解析」における下記のページに基づき出題。

- 問1 P.32・33 から出題
- 問2 P.70・71 から出題
- 問3 P.79・80 から出題
- 問4 P.85 から出題。

2026年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題  
出題意図

分野 経営システム 問題番号 4

---

出題意図

統計学、統計解析における基本的な概念の意味を理解しているかどうかを問う。

推奨テキスト及び関連ページ

倉田博史・星野崇宏『入門統計解析 第2版』新世社

- (1) p. 42
- (2) p. 46
- (3) p. 117
- (4) p. 187
- (5) p. 251
- (6) p. 85, 297

2026年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題  
出題意図

分野 会計学 問題番号 5

【出題意図】

「原価配分」は利益測定の基本である。本問は、原価配分の典型例である「減価償却」を題材として、原価配分に対する総合的な理解を確認することを意図して出題している。

【解答のポイント】

(1)

- ① 減価償却費：600,000円、未償却残高：1,800,000円
- ② 減価償却費：720,000円、未償却残高：1,080,000円
- ③ 減価償却費：800,000円、未償却残高：1,200,000円

(2)

企業の業種や経済活動の実態は多様  
→ 画一的方法を強制すると、会計の結果が実態をうまく描写しなくなる恐れ

(3)

- ・経営者の利益操作の防止
- ・財務諸表の期間比較可能性の確保

(4)

- ・企業の事業内容の変化や企業内外の環境変化に対応した変更であること
- ・取引や事象の影響を財務諸表により適切に反映させるために行う変更であること

(5)

減価償却費：360,000円、未償却残高：720,000円

【推奨テキストの関連ページ】

桜井久勝『財務会計講義（第25版）』中央経済社、pp.64~66, 174~185

以上

2026年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題  
出題意図

分野 会計学 問題番号 6

---

出題意図

原価の管理可能性は、責任会計との関わりから管理会計の中核的な概念と位置づけられる。本問では、責任センターの管理者の影響力から分類される管理可能費と管理不能費の定義を問う。

解答のポイント

- (1) 責任センターの管理者による影響という観点から、管理可能費、管理不能費の定義を示す。
- (2) 管理可能費、管理不能費それぞれの費目の定義を適用する場合の留意点について、推奨テキストの理解を前提として、具体例を交えながら説明する。

推奨テキスト関連ページ

- ・岡本清 (2000) 『原価計算 (六訂版)』国元書房: 44-46.